

みなまた 市議会だより

第82号

令和2年2月1日

編集 みなまた市議会
だより編集委員会

発行 水俣市議会
電話61-1661

<http://www.city.minamata.lg.jp>

E-mail: [gikai@city.](mailto:gikai@city.minamata.lg.jp)

[minamata.lg.jp](http://www.city.minamata.lg.jp)



年中行事“どんどや” 深川地区

よりよい水俣づくりのために



水俣市議会議長

岩阪 雅文

域活性は必ずや実現できるものと信じてやみません。しかし、その条件は市民、行政、議会が一体となり、今や改革ではなく覚醒の気概を持って行動しなければならぬと思います。

昨年を振り返りますと、統一地方選挙を経て市議会も新たな体制でスタートしました。

昨年3月には水俣インターチェンジが開通し、よりにぎやかさも増してまいりました。

また半世紀以上も親しんでいた旧市役所庁舎も姿を消し、2年半後の完成を目指し、障がい者の方々、またお年寄りに優しく、災害に強い新庁舎着工も始まります。

現在、議会もやい館3階を仮議場としているため、傍聴者の方々に様々なご不便をおかけしています。

議会としても、この機を逃すことなく行動し提案する議会としてさらに邁進してまいります。

人口減、高齢化、財政難等、厳しい条件の中、地域資源を活かした水俣ならではの地

域活性は必ずや実現できるものと信じてやみません。しかし、その条件は市民、行政、議会が一体となり、今や改革ではなく覚醒の気概を持って行動しなければならぬと思います。



水俣市議会副議長

牧下 恭之

令和2年、新しい年を迎えました。議会では昨年の市議会議員選挙で、新しいメンバーが増え、16名で議論を戦わせ、市政発展に挑んでまいります。

昨年は、市制70周年を迎え、小中学校エアコン設置・高校生まで医療費無償化・給食費の一部補助と大きく一歩前進しました。

消費税率引き上げと同時に実施された軽減税率は、生活に浸透しはじめております。特に大混乱は見られず、消費者は飲食料品に対して、軽減税率の効果を実感しているのではないのでしょうか。

さらに、幼児教育・保育の無償化で、全国でも利用者の9割が評価をしております。本年4月から高等教育無償化もスタートし、子育て世代の支援も始まります。

団塊の世代が、75歳以上の後期高齢者となる2025年が眼前に迫っています。人口減少・少子高齢化が進む中、次の世代のために、水俣市においても、どのような社会を築いていくか。政治の責任として、この問題に取り組まなければなりません。

また、「人生100年時代」が到来しようとしています。2人に1人ががんにかかる時代です。予防医療の推進で、早期発見による身体的、経済的、時間的負担を減らし、充実した人生のために取り組んでまいります。

新庁舎建設の槌音が聞こえる中、市民の皆様の声を議会に繁栄できるよう議員全員で頑張っております。

12月定例会の報告

可決された補正予算・条例など

【令和元年度会計別補正予算】

(千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の額
一般会計	1 1 1, 4 6 1	1 6, 7 4 1, 3 7 8
国民健康保険	4, 1 2 5	4, 1 5 9, 9 5 8
後期高齢者医療	1 2 4	4 1 3, 1 9 9
介護保険	▲ 2 4	3, 6 4 4, 6 7 6
公共下水道事業	1, 5 6 6	1, 0 5 6, 8 0 7
病院事業会計	—	—
水道事業 (第3号)(資本的収入)	1 5, 4 4 0	2 2 4, 7 9 0
水道事業 (第4号)(収益的支出)	3 4 7	3 5 5, 9 1 6
水道事業 (第4号)(資本的支出)	3 7	4 2 4, 4 1 7

条

例

〈現行の条例改正〉

- 水俣市高等教育・研究活動拠点施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例
※水俣環境アカデミア
- 水俣市厚生会館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- 水俣市児童館設置条例の一部を改正する条例
- 水俣市保健センターの設置等に関する条例の一部を改正する条例
- みなまた環境テクノセンターの設置等に関する条例の一部を改正する条例
- 水俣市文化会館条例の一部を改正する条例
- 水俣市社会教育施設条例の一部を改正する条例
- 徳富蘇峰・蘆花生家条例の一部を改正する条例
- 水俣市公民館条例の一部を改正する条例
- 水俣市体育施設条例の一部を改正する条例
- 水俣市学校体育施設等使用料条例の一部を改正する条例
- 水俣市立武道館条例の一部を改正する条例
以上、12の条例は消費税及び地方消費税の税率の改定に伴い、各施設の使用料を変更します。
- 水俣市営住宅条例の一部を改正する条例
牧ノ内団地4号棟の供用開始に伴い、戸数が54戸から59戸に増えます。
- 水俣市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
令和2年4月1日から公共下水道事業に地方公営企業法を適用して、水道局と下水道課の組織を統合することに伴い、関係条例の整備を行います。

●水俣市水道条例の一部を改正する条例

令和2年4月1日から施行される、民法の一部改正及び下水道課との組織統合に伴う条文の整備、並びに指定給水装置工事事業者の指定が更新制に変更になったことに伴い、指定料金の見直しを行います。

●水俣市長等給与に関する条例等の一部を改正する条例

令和元年人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定等に準じて、関係条例の改正を行います。

《その他》

●市道の路線認定について

江添・袋線（江添字小平迫地内から袋字南志水地内まで）を市道路線として認定するものです。

《人事》

●人権擁護委員候補者の推薦について

牛迫秀基 氏（わらび野）

補正予算の主なもの

●地域介護・福祉空間整備等補助金 3228万円

高齢者施設の、発電機・避難経路確保のためのウッドデッキ・スロープ設置など防災改修の費用です。

●東京2020オリンピック聖火リレー実施負担金等 1479万円

●袋インターチェンジ用地購入 2038万円

●果樹競争力強化推進事業（太秋柿など） 51万円

●県知事選挙関連費 1380万円

●築地、丸島町線道路構造物補修工事 3107万円

●水俣湾地方港湾改修事業 400万円

意見書

《原案可決》

●意見第1号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書について

●意見第2号 国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書について

●意見第3号 身体障害者手帳の交付対象とならない18歳未満の軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費助成制度の創設を求める意見書について

陳情

《継続審査》

●陳第3号 国、熊本県へ「不知火海沿岸住民（山間部含む）の健康調査の実施を求める」意見書提出の陳情について

●陳第4号 介護施設の人員配置基準の引き上げのため国に対し意見書の提出を求める陳情について

●陳第5号 安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める陳情について

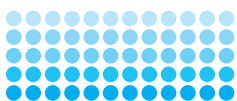
慎重審議を要するため

賛否の分かれた議案

水俣川河口臨海部振興構想事業についての「市民説明会の開催を求める」陳情について
議案の審議結果

会派	真志会					自由民主党 自民会派				無限21			日本共産党		誠心会	公明党	結果
議員名	真野 頼隆	木戸 理江	小路 貴紀	桑原 一知	谷口 明弘	松本 和幸	岩阪 雅文	岩村 龍男	田口 憲雄	田中 睦	杉迫 一樹	藤本 寿子	高岡 朱美	平岡 朱	測上 茂樹	牧下 恭之	
賛否	否	否	否	否	否	否	議長	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	

反対討論 ・ 工事には30億円以上かかり財政難になるのでは、日奈久断層が動く前に八幡プール前の護岸を強護にすべき等の市民の意見がある。市は、市民に丁寧な説明が必要である。
・ 民主主義が正常に機能するには、正しく、十分な情報提供が不可欠である。行政には市民の求めに応じて説明し、理解を得、意見を参考にする義務があり、市民の知る権利を保障するのが議会の役割だ。



常任委員会の報告



* 各常任委員会で交わされた主な質疑の内容です。

総務産業

正) 岩村・田中・桑原・牧下
副) 小路・高岡・杉迫・松本

条例の一部改正 6 件、補正予算 6 件、
その他の議決事件 1 件、陳情 1 件（継続分）

●水俣市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

質疑—牧ノ内団地はあと何棟を建設する予定なのか
答弁—1 号棟から 9 号棟の予定であり、現在、1 号棟、2 号棟、3 号棟、5 号棟が建設されている。また、令和 2 年 2 月には、4 号棟が完成予定であり、残りは 4 棟である。

●水俣市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

質疑—企業会計にすることでの自治体のメリットは何か
答弁—まず、単式簿記から複式簿記になり、財務諸表等の作成により、経営状況が分かりやすいものになる。また、本市と同規模の自治体との比較検討ができる点や、組織的にも独立性が高くなり、機動的なものになる。

●令和元年度水俣市一般会計補正予算（第 6 号）中付託分について

質疑—家畜伝染病防疫対策事業補助金について、アフリカ豚コレラ対応のための予算であり、財源は一般財源であるとの説明であったが、今後、国、県の補助金の確定等により、財源の振り替えもあるのか

答弁—国と県からは直接、事業主体に補助金が交付されることになるため、今回の予算計上分は、市の上乗せ分になる。

質疑—土木課所管事業の繰越明許費について、主な原因は、地権者との用地交渉が遅れているためとの説明であったが、用地交渉を行う職員の人員不足によるものか

答弁—実際、事業量に対しての職員数は少ないと感じている。また、用地取得後、工事を進めるにあたり、電柱の移転等も出てくるため、関係機関の協力が順調に進まない場合もあり、やむを得ず、多くの事業の繰り越しが生じている状況である。

厚生文教

正) 谷口・岩阪・瀧上・田口
副) 藤本・平岡・木戸・真野

条例の一部改正 10 件、補正予算 8 件、
陳情 3 件（うち継続 1 件）

●水俣市公民館条例の一部を改正する条例の制定について

質疑—改定される使用料が適用されるのはいつからか
答弁—令和 2 年 4 月から適用され、それまでは改定前の使用料となる。4 月以降の使用の予約を 3 月までにされた場合も、改定前の使用料となる。

●水俣市学校体育施設等使用条例の一部を改正する条例の制定について

質疑—登録団体と、一般利用の料金が同額になることに対する不満はないか
答弁—登録団体 1 回の使用は、一般利用が 1 時間単位であるのに対して、2 時間単位となっているため、不満は出ないと考えている。

●令和元年度水俣市一般会計補正予算（第 6 号）中付託分について

質疑—東京オリンピックの聖火リレーの関係予算が計上されているが、聖火リレーが水俣を通る日程と、繰り越す予算の内容は
答弁—聖火リレーの日程は 5 月 6 日である。聖火リレーの関係予算として、出演者への謝金である報償費や消耗品費等の予算を繰り越す。

●令和元年度水俣市病院事業会計補正予算（第 1 号）について

質疑—令和 2 年 4 月の民法改正にあわせて、入院時の保証人の選定が不要となる未収医療費保証の導入により、入院患者の医療費に保証料を上乗せすることになるのか

答弁—保証会社と医療センターが契約をするため、患者の医療費に保証費用を上乗せすることはない。

質疑—この未収医療費保証を導入する効果は

答弁—入院患者において保証人を探す必要がなくなり、入院手続きをスムーズに行うことができる。病院においても、入院手続き業務及び未収金徴収業務の負担軽減のほか、未収金がなくなるというメリットがあり、効果は大きい。

平成30年度 特別会計・企業会計決算審査報告

特別会計、企業会計の全事業について、全員異議なく認定すべきものと決定しました。
なお、各事業における質疑は次のとおりです。

特別会計

公共下水道事業

質疑 事業の優先順位をつけることで、年々、公債費が減少することになった理由は

答弁 以前は、浄化センター、各雨水ポンプ場ごとに、長寿命化計画を策定し、改築更新を進めていたが、下水道施設全体を中長期的な視点で捉え、優先順位をつけて、事業費の平準化を目指すためのストックマネジメント計画を導入する方向へと国の方針が変わってきている。

そのため、本市でも、平成29年度にストックマネジメント計画を策定し、平成30年度から令和4年度までの計画で現在進めている。今後は、効率的な施設管理、コスト削減等も期待できる。

後期高齢者医療

質疑 なし

国民健康保険事業

質疑 2025年に団塊の世代が後期高齢者医療保険に移行することで、国民健康保険の被保険者が大きく

減少することが見込まれるが、その対策は

答弁 繰越金や基金を充当しても対応できない場合は、保険料改定について検討する必要があると考えるが、全国的な問題であるため、国、県においても対策が検討されている。

介護保険

質疑 まちかど健康塾は市内の全地区で実施しているのか

答弁 市内全地区で実施しているものではない。実施していない地区では、社会福祉協議会主催の地域リビング事業が実施されている。

企業会計

水道事業

質疑 第2水源と総合医療センターを、地震災害に強い耐震管で繋ぐための配水管敷設の工事状況は

答弁 平成29年度に事業の実施設計を委託し、平成30年度は、貯水施設の基礎の杭打ちを行った。今年度は、その上にコンクリートを打って、ステンレスの貯水施設を建設中である。

病院事業

質疑 医師及び看護師確保対策の具体的な方法は

答弁 医師は、熊本大学の医局から派遣いただいているが、不足する診療科の医師の派遣については、機会あるごとをお願いしている。併せて、医師住宅の整備や、市外からの通勤手当の補助などを行っている。また、看護師については、不足する人員の採用は毎年4月で行うが、その後、中途退職が生じた場合には人員の補充が必要となるが、県の委託で看護職の就職先の紹介等を行っている熊本県ナースセンターの事業を活用するなどして人員の確保に努めている。

質疑 ハイケアユニット病床の稼働状況は

答弁 8月から本稼働したが、8月、9月ともに一日当たり平均5人で、当初見込みを上回る状況である。

質疑 利益剰余金の今後の活用計画は

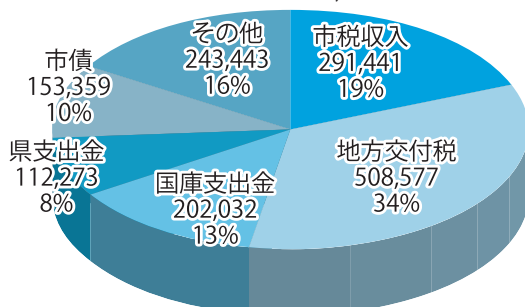
答弁 今後、電子カルテが更新時期となっており、今年度から来年度にかけて大きな投資を予定している。

平成30年度一般会計決算審査報告

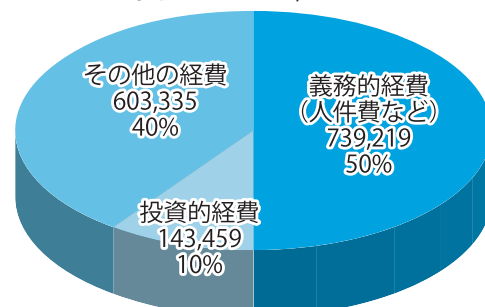
委員：小路委員長、岩村副委員長、田中、高岡、淵上、木戸、田口

10月29日から31日までの日程で特別委員会を開催し、各担当部・課から説明を受け、質疑・審査を行いました。結果、全員異議なく認定するものと決定し、市長に要望書を提出しました。

【歳入】 151億1,125万円



【歳出】 148億6,013万円



要望書

1 新庁舎の建設については、工期厳守にて計画を遂行するとともに、地元経済への波及効果を高められたい。また、周辺の整備等については、関係機関と十分に協議をした上で、市民の利便性に寄与するよう総合的に進められたい。

2 公平性の観点から丸島水路公害防止事業費事業者負担金や、その他の税の収入未済分についても、引き続き徴収に努められたい。また、市税等の滞納、特に固定資産に関する相続手続きの留意点については、市民への情報周知によって理解を深めてもらうなど、できるだけ不納欠損処理に至ることがないように努められたい。

3 本市の財政状況が厳しい中にあるのは、市が所有する遊休財産の活用や売却を進めるとともに、市が交付する補助金及び発注する委託料全般について、継続及び新規事業に関わらず、その積算根拠の透明性と金額の適正化に引き続き努められたい。また、事業実績及び成果等については、各課にてチェック機能の強化を図られたい。特に随意契約の際は、市場価格と比較して疑義が生じないよう留意されたい。

4 近年多発する自然災害に備えるためには、市及び地域で管理する避難所の収容人数の実態に鑑みて、避難勧告における警戒レベル3以上を想定した行動指針をよりわかりやすく、機会を捉えて事前に周知する等、安全確保に努められたい。

5 ストレスチェックによる

庁内各課ごとの集団分析に基づいた職場環境の改善については、その成果が判断できない。よって、具体的な取り組みを進めることで、メンタルヘルス活動を積極的に推進されたい。

6 人口減に歯止めがかからない現状を直視し、地元の若者が残りやすく、市外からの定住・移住者が住みたくなる環境整備及び情報発信のためには、教育、子育て、空き家活用といった市内担当課の縦割り行政を打破し、組織の横断的な連携によって具体策を講じられたい。なお、住宅取得の支援につながる「家庭部門低炭素総合事業」については特に若者が分かりやすく親しみやすいネーミングを検討されたい。また、地元で働ける雇用機会の創出に向けて、国・県の動向を注視し、官民連携による地場企

業の育成支援、起業家の支援、企業誘致にさらに努力されたい。

7 農林水産業については、引き続き積極的な支援策を講じられたい。近年、農林業生産者をおびやかしている有害鳥獣の駆除対策を強化しつつ、農業の存続を図っていく上では、国が進めるICT化等の新たな取り組みを推進されたい。

8 南九州西回り自動車道水俣インターチェンジの開通を契機として、水俣の農水産物及び加工品の積極的なPRと販路拡大を進めるとともに、新たなイベント事業等により、市内観光施設への誘客増を図られたい。また、将来的な全線開通に向けては、流入人口の空洞化対策を講じられたい。

9 本市のごみ分別は、環境

への配慮からも多方面で高く評価されてきた。しかしながら、今後急速な少子高齢化時代を迎えることから、地域コミュニティの実態を把握しつつ、市民の負担軽減につながるよう、分別の種類や収集のあり方について再度検討されたい。

10 市内の遺跡や文化財の適切な保護・管理のため、引き続き専門の学芸員の確保や歴史民俗資料館の設置を検討されたい。

11 公共施設の老朽化対策については、優先順位を明確にして進められたい。子どもたちが安全安心に学べる環境を保つためには、学校施設についても、引き続き整備に努められたい。特に、水俣第二中学校体育館の経年雨漏れの問題に対しては、抜本的な対策を講じるよう着手されたい。

あなたの声を市政に

紙面から動画にリンク

各議員の写真の下に二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

※視聴の際のデータ通信料は利用者の負担となります。

●小路 貴紀

1. 空き家及び移住・定住の対策について
2. ハゼの振興について
3. 河川の整備について
4. SUP（スタンドアップパドルボード）の取り組みについて

●田口 憲雄

1. 地域の再生と持続可能な地域づくりについて
2. 安心できる地域医療と高齢者介護について
 - (1) 地域医療について
 - (2) 高齢者介護について
3. 水俣高校の有害鳥獣被害対策への取り組み（命をいただく～18歳、俺たち高校生ハンター）について

●田中 睦

1. 水俣病問題について
2. 仮庁舎の昇降設備について
3. 学校現場の働き方について

●平岡 朱

1. 災害対応について
2. 中等度難聴者の補聴器購入について
3. 水俣病問題について

●杉迫 一樹

1. 水俣川の防災対策等について
2. 市役所仮庁舎2階昇降設備に関する諸問題対策及びバリアフリー認識について

●桑原 一知

1. 地域公共交通網形成計画について
2. 通信インフラ整備について
3. 子どもの学力向上について
4. 地域防災について

●真野 頼隆

1. 南九州西回り自動車道について
2. 本市の農業振興と棚田の景観保全について
3. ICTの活用及び外国語活動教育について

●高岡 朱美

1. 水俣市経済の現状について
2. サン・エレクトロニクス株式会社閉鎖の影響について
3. 「環境モデル都市」の称号について
4. 高齢者福祉及び介護保険事業の現状と職員体制について

●洲上 茂樹

1. 水俣市立明水園の運営について
2. 鹿やイノシシによる被害対策について
3. 大雨や台風等による災害発生時の対応について

●藤本 寿子

1. 南九州西回り自動車道開通にあたっての諸問題と今後の経済効果について
2. JNC電子部品事業撤退について
3. 水俣市の山間地における太陽光発電所について
4. 学校現場での「フッ化物洗口」について



小路 貴紀 議員
(真志会)



空き家の市場流通を促し、中古住宅利用及び 新たな宅地に再生することで、人口減に歯止めを

空き家及び移住・ 定住の対策

- 【問】 空き家の現状は
- 【答】 ①所有者等の問題 意識等が希薄 ②所有者等が遠隔地で管理が困難 ③固定資産税の6分の1特例を受けるため空き家が残す ④老朽化で倒壊や不審火の恐れ、草木が生い茂ることで不衛生な環境の放置、が挙げられる。
- 【問】 目指す方向性は
- 【答】 ①適切な管理 ②空き家等を中古市場で流通 ③不適切な管理に対して指導や解体を勧告する、等である。
- 【問】 空き家等の総数及び空き家バンクへの登録件数は

- 【答】 平成27年度の調査では、世帯数11974世帯に対して、空き家は1171軒であった。空き家バンクへの登録は現在、0件である。
- 【問】 空き家等を新たな宅地として購入する方へ解体費の一部を補助できないか
- 【答】 老朽危険空き家向けの補助金はあるが、ご指摘の分での補助金はない。国や県の補助制度等を調査し、検討したい。
- 【問】 空き家を解体して更地にした際も、固定資産税の6分の1特例を設けて、所有者等の負担軽減はできないか
- 【答】 本来の地方交付税交付金が減少する恐れもあるため、土地の流動化と有効利用、移住・定住の促進、税財政面の影響、他自治体の事例等を参考に検討したい。

ハゼの振興



- 【問】 ハゼの実の需要と供給のバランスは
- 【答】 需要に供給が追いつかず、本市の出荷量増加が望まれている。
- 【問】 現状の課題とは
- 【答】 約1万5千本のうち、約5千本の収穫に止まっていること、また高齢化による後継者の不足、苗の接ぎ木をする人材不足等が挙げられる。
- 【問】 新たな行政支援として考えられることは
- 【答】 荒廃したハゼ林整備、苗木育成や新規植林支援、分布調査や法人等の生産体制確立に向けた支援等である。
- 【問】 第七次水俣・芦北地域振興計画に盛り込んで欲しいがどうか
- 【答】 ご指摘の通り、盛り込んで頂けるよう提案していきたい。
- 【問】 水俣川及び湯出川の河川整備計画は
- 【答】 熊本県への確認では、水俣川は白浜町から中鶴の区間、湯出川は水俣川合流地点から南福寺の区間で河川改修は完了しているとのことであった。
- 【問】 水俣川下流区間における堤防の補修や改修の考え方は
- 【答】 熊本県への確認では、現時点で計画はないが、河川内に堆積した土砂のしゅんせつ等、適切な維持管理を図ることであった。

河川の整備

SUP（スタンド アップパドルボー ド）の取り組み

- 【問】 SUP普及に取り組んだ経緯は
- 【答】 湯の児は波が穏やかでSUPに適した環境であることから、水俣の海の素晴らしさや魅力を広く発信したいとの考えからである。
- 【問】 県内小学5年生の肥後っ子教室に、SUPを体験する企画を取り入れてみては
- 【答】 水俣病を正しく理解してもらい、再生した水俣の美しい海を五感で体験してもらうためにも関係者と協議の上、環境を整えたい。





田口 憲雄 議員
(自由民主党)



地域づくり、命を守る病院 未来を創る学校

地域の再生と持続 可能な地域づくり について

問 水俣のグランドデザイン的基础となる人口推移と対策は

答 過去30年間で、1・1万人減少。人口減少は経済の縮小、市民の経済力の低下、地域コミュニティの存続の危機。今後、総合戦略を策定し、計画的に実行していく。

問 自主財源の確保は

答 税收確保、遊休資産の売却等で確保する。

問 世界の人口は増加する中、先進国及び日本は減少している。生産年齢人口が1人増加

することで、地方交付税をはじめ歳入は、どれくらい増加するのか

答 算定すると15・5万円増加。また、所得に応じて増加する。

問 生産年齢人口が減少する中、外国人労働者の現状と今後の見通しはどうか

答 現在、技能実習生13人を含めて44人。今後、外国人労働者の受け入れは進む。

安心できる地域 医療と高齢者介 護について

問 厚労省が、再編・統合の議論が必要と判断した公立・公設病院名を公表したが、総合医療センターの現状は

答 地域包括ケア病院やHCU病床整備など地域医療構想を踏まえ、病床機能分化を進め、24時間の救急医療体制

を維持存続させ、地域医療の拠点病院としてその役割を果たしたい。

問 拠点病院としての問題点、改善点は

答 医師をはじめとする人材確保が一番の課題。麻酔科などの医師及び看護師確保に努める。

問 高齢者の施設入所の待機状況はどうか

答 特別老人保健施設は平均で90人、介護老人保健施設は84人、グループホームは52人で近年増加傾向。地域密着型有料老人ホームは19人である。

問 水俣市・芦北郡医師会長は、マンパワー不足により、今後は外国人技能実習生を積極的に受け入れるべきと発言している。介護施設の外国人労働者のニーズは

答 複数の介護施設・医療機関において、既に採用または今後採用



予定と伺っている。

問 水俣に限らず、地方では医師、看護師、薬剤師などの人材不足が深刻な問題。高齢者福祉施設などでも、介護職員や料理員などの職種が不足。人材育成への取り組み、外国人労働者の対策も含め、今後検討を望むが病院の存続に向けたような対策や支援が必要か

答 救急医療や小児医療、周産期医療などの維持には一般会計からの繰出金は不可欠である。

水俣高校の有害鳥獣被害対策への取り組み (命をいただく18歳 俺たち高校生ハンター) について

問 水俣高校機械科3年生の課題研究の取組内容とその課題は

答 本校のSGHの一環で、有害鳥獣の被害や猟友会の高齢化・担い手不足等の問題にアプローチし、イノシシ等の捕獲を行う箱罠製作や狩猟免許を取得し、最終的には命の大切さを学ぶ取り組みである。これらの費用負担の軽減が課題である。

問 水俣高校の取り組みへの支援できないか

答 箱罠製作に関する費用や狩猟免許取得等に関する費用の一部を補助できないか努力していく。



田中 睦 議員
(無限21)



市民、職員を守るためにも リフトの設置を

仮庁舎の昇降設備について

【問】 車いす利用者が2階に上がる際には職員が抱え上げているが、安全性に問題はないか

【答】 作業療法士による研修を行った。車いす利用者と介助する職員の安全を考え、4人以上で介助している。

【問】 他県では、人力で上げ下ろしされていた議員が階段から転落して障害の度合いが進み、議員を辞めざるを得なくなったという例がある。職員も、怪我をさせてしまったという心理的負担を負うことになる。想定できる事故の可能性は排除すべきと思うがどうか



【答】 安全確保の対応としてはスロープ、昇降機等の設備を後付けする方法がある。しかし、仮設の庁舎で構造的に困難であり、貸主との協議が必要で、手続きや工事等問題が多く、整備は困難である。

【問】 これから2年近く大きなリスクを抱えたままだ。市民を守り、職員を守る意味からも昇降設備が必要だが

【答】 新庁舎の完成までは不便をかけるが、来庁者のニーズに応じた対応を行っていく。

水俣病問題について

【問】 水俣病特措法が施行されて10年が経過したが、被害者の救済と水俣病問題の解決という目的は達成されたと思うか

【答】 現在でも新たに認定申請する方や司法の場に救済を求める方がおられる。水俣病問題が解決したとは言えないと考えている。

【問】 一時金支給対象者の中に、特措法の対象地域外（水俣では久木野、古里、越小場）の人たちが多数含まれている。対象地域の線引きは妥当だったのか



【答】 対象地域については国県等で決められている。意見を言う立場ではない。

【問】 患者・被害者が多数存在する水俣市の長として、国・県に対して積極的に健康調査の実施を求めてほしいと思うが、どうか

【答】 健康調査については国が手法の開発をしているので、国の動きを注視しつつ意見は伝えたい。

学校現場の働き方について

【問】 過労死ラインとされる月80時間を超える超過勤務をしている教員は減っているか

【答】 2年前から15.4%、延べ人数で204人減少している。

【問】 「超過勤務が記録上は80時間未満になっているが、実際はそれ

を超えている」「指導があるので土日に来ても記録をしていない」という声があるがどう改善するか

【答】 学校訪問等で正確な記録をするよう職員に直接指導している。

【問】 提出物や報告書の簡素化など、業務量を減らす取り組みを今以上に強化してほしい

【答】 県・国からの調査等も当委員会で作成するのは報告書等を作成している。今後も簡素化や削減に努める。





平岡 朱 議員
(日本共産党)



難聴者の会話の手助けとして 補聴器購入の補助を

災害対応につ いて

- 【問】 市内河川の、想定している危険箇所について、すでに取りられている対策はあるか
- 【答】 県において、護岸構造の定期的な巡視、治水上必要な箇所や要望箇所に対して浚渫等を実施している。
- 【問】 大雨の際の情報提供として、山間部での雨量、満潮時刻などを知らせるかどうか
- 【答】 今後は、「山間部5カ所の時間雨量を含めた本市の雨量」や「満潮時刻」の情報もホームページに記載したい。

- 【問】 堤防の決壊等も想定したハザードマップの総点検をすべきと思うがいかがか
- 【答】 ハザードマップは、県実施の土砂災害警戒区域の再調査の後更新したい。また、県において堤防が決壊した場合など想定最大規模の洪水浸水想定区域図を作成中であり、作成後は遅滞なく公表したい。



中等度難聴者の補 聴器購入について

- 【問】 本市における補聴器購入の際の補助対象

- 者、補助内容はどのようになっているか
- 【答】 身体障害者手帳をお持ちの方で、両耳の聴力レベルが70デシベル以上の方、あるいは一方の耳の聴力レベルが90デシベル以上で、もう一方が50デシベル以上の方となっており、非課税の方は全額補助、課税の方は9割を補助している。
- 【問】 中等度難聴者とはどんなレベルの方か
- 【答】 一般的には聴力レベルが41デシベル以上で、両耳で普通の話し声がやっと聞こえる程度である。
- 【問】 中等度難聴者の補聴器購入について補助を出す考えはないか
- 【答】 国、県の財政的な支援が必要であるので、国の動きを見極めて考えていきたい。

水俣病問題につ いて



- 【問】 水俣病特措法における水俣市内の「対象地域外」の救済対象者は654人で、有機水銀による汚染が沿岸部だけでなく、山間部など市内全域に及んでいたことを国や県自身が認めたことを意味している。この事実について市長はどう考えるか
- 【答】 救済されるべき方が救済されたのではないか。
- 【問】 水俣病特措法の救済対象は「昭和44年11月まで生まれた方」と

- されたが、昭和44年12月以降生まれの方も救済されている。昭和44年12月以降生まれの方の健康状態を正確にかむためには調査しかないが、水俣市として健康調査を実施する考えはないか
- 【答】 健康調査については、国が調査、手法の開発に取り組んでいるのと聞いているので、国の動きを注視したい。
- 【問】 国はもう10年、健康調査の手法を開発していると同じことを言い続けている。このことについてどう思うか
- 【答】 その手法の開発に注視していきたい。
- 【問】 水俣市の市長として、「対象地域外」・「年齢による線引き」で救済されていない被害者が放置されたままでよいと思われるか
- 【答】 専門家ではないのでお答えする立場にな



杉迫 一樹 議員
(無限21)



誰もが使いやすい仮庁舎へ向け 合理的配慮の徹底を

水俣川の防災対策等について

【問】 水俣川川底のしゅんせつの状況はどうか

【答】 河川管理者である県に確認したところ、毎年しゅんせつを行うことは困難な状況であり、市からの要望箇所などを優先的に、予算の範囲内で対応する。

【問】 水俣大橋、幸橋、新水俣橋、鶴田橋の完成はいつであったか。

【答】 水俣大橋は平成6年、幸橋は昭和40年、鶴田橋は平成17年、それぞれそれぞれの橋脚の数はいくつか

【答】 水俣大橋は平成6年、幸橋は昭和40年、鶴田橋は平成17年、新

水俣橋は昭和41年の完成であり、耐久年数や架替え期限等の法令による定義はない。橋脚は水俣大橋が2基、幸橋が9基、新水俣橋が4基、鶴田橋が1基となっている。

【問】 水俣川川底にある水中公園の用途、目的は何か

【答】 県に確認したところ、干潮時に現れる河床の景観面を配慮し、設置したと思われるが、明確な目的は不明である。

【問】 水俣川の氾濫実績はあるか

【答】 氾濫実績はない。

【問】 特に老朽化が進んでいる幸橋の架替えの予定はないのか

【答】 現時点で架替えとなれば概算事業費約12億円が見込まれるため、橋梁長寿命化修繕計画のもと、令和31年頃まで補強などの措置を講じつつ、供用予定

【問】 水中公園が水俣川の氾濫の原因になりえるのか

【答】 氾濫の原因になることは考えられない。

【問】 水俣大橋、幸橋、新水俣橋、鶴田橋の完成はいつであったか。

【答】 水俣大橋は平成6年、幸橋は昭和40年、鶴田橋は平成17年、新



水中公園

【問】 市役所仮庁舎2階昇降設備に関する諸問題及びバリアフリー認識について

【問】 仮庁舎建設時にエレベーター設置に至らなかった理由は何か

【答】 現在の仮庁舎は、平成28年に発生した熊本地震で被災した旧庁舎からの緊急避難のため

【問】 エレベーター設置に取り組まないとなれば、事故が起きた際の責任は誰がとるのか

【答】 公務遂行上の事故については、水俣市と

【問】 ハード面での環境設備を行う意思はあるのか

【答】 建物の構造の問題や利用期間など、考慮すべき問題が多々あるため、ハード面での設備は難しい。

【問】 市長が考えるバリアフリーの必要性、そして、市長にとって水俣市、水俣市民とはどのような存在か

【答】 物理的なバリアフリーに加え、人の心のバリアフリーも大切である。水俣市は私の大切なふるさと。水俣市民の皆さまには、共に暮らし、喜びを分かち合う家族であり、共に未来を創る大切な仲間であると思っている。



桑原 一知 議員
(真志会)



光ファイバ整備を加速し 地域情報格差の解消を

地域公共交通網 形成計画

- 【問】 第一期水俣市地域公共交通網形成計画の計画期間が終えようとしているが、見えてきた課題は何か
- 【答】 ① 交通空白地域が一部存在している事。
② 運行ダイヤと利用者が利用したいと考えている時間にミスマッチが生じている路線がある事。
③ 利用者が極端に少なくなっている路線がある事。
④ 財政負担が年々増加している事が課題である。
- 【問】 デマンド交通導入について、どのように考えているのか

【答】 利用者が少ない路線については運行コストの削減が期待できる手段であるが、民間タクシー事業者と競合関係になる可能性も十分考えられることから、慎重に制度設計を行う必要があると考える。



通信インフラ整備

- 【問】 光ファイバ未整備地区についてどのような考えているか
- 【答】 防災、企業誘致、人口流出の防止、観光客等の交流人口の増加、教育ICTによる質の向上、医療ICTによるサービスの向上など、

様々な地域の課題への解決に資するものであり、水俣市全域に必要不可欠なインフラであると考えている。

【問】 5Gの活用による教育、観光、農業、医療など様々な分野の新しい取り組みにチャレンジしたくても出来ない地域があるという、情報格差は解消すべきと考えるが

【答】 本市負担が大きく財源確保に苦慮している。予算編成において財政状況を考慮しながら、早期の事業実施に向けて検討を進めたいと考える。

子どもの学力向上

- 【問】 学力・学習状況調査での課題解決に向けてどのような取り組みを行うのか
- 【答】 「学力・学習状況調査を起点とした授業

改善実践報告集」を作成し教職員全員に配布する事で授業改善につなげてもらおうと、取り組みを進めている。

【問】 全国で「教科担任制」の導入検討を進め

地域防災

ていく方針だが、本市の考えはどうか

【答】 国の動向を注視し、他郡市の状況などの情報収集に努めたいと考えている。

【問】 山間部では消防団員数が減少傾向であり今後高齢化や人口減少も進んでいく事を考えれば、機能別消防団員制度の研究・調査は必要であるが、見解は

【答】 まずは、基本団員の確保に努め、今後は機能別消防団員制度の

課題の整理等を行い、他市の導入実績を参考に、研究・調査していきたいと考えている。

【問】 市が管理する避難所にはAEDの設置が必要と考えるが

【答】 AEDの設置は望ましいと考えてるので、設置に向けて検討する。



消防団



眞野 頼隆 議員
(眞志会)



南九州西回り自動車道に サービスエリアの設置を

南九州西回り自動車道について

【問】現在の進捗状況はどうなっているか

【答】袋インターとか県境に向けた道路整備が進められている。中尾山トンネルや小田代トンネルをはじめとした道路工事や、用地の取得が着実に進められており、芦北出水道路の用地取得の進捗率は約95%になっている。なお、袋インター、出水北インターとも供用開始時期は未定である。

【問】サービスエリアは宮原SA以南にはないため、水俣市にできれば経済効果も期待できる

る。市単独での設置が難しいのであれば、民間活力等も考えられる。道の駅とも競合しないと思われるため、南九州西回り自動車道にサービスエリアを設置する考えはないか

【答】地域経済への効果も考えられるので、可能性調査の実施も含め検討していく。

【問】袋インターの取付道路の整備はどうなっているか

【答】国道3号から道路を新設して接続するルートと、農免農道とインターを結ぶ市道を改良する2つのルートがあり、用地取得率で、3号線ルートが10%、農道ルートが90%で、用地取得が終わった区間は法面掘削工事に着手している。

農業振興と棚田の 景観保全について

【問】遊休農地の状況はどうなっているか

【答】市全体の農地面積1586ヘクタールに対し、173ヘクタールとなっている。

【問】高単価作物導入の取り組み状況はどうか

【答】タケノコ、一寸ソラマメ、ホオズキ、アスパラガス等の作付け支援を行っている。

【問】世界の三大健康野菜であるヤーコン、キクイモ、アピオスの栽培を推進するつもりはないか

【答】農業者が新規作物の導入に取り組む場合には、種苗代金の一部助成を行いたい。

【問】湯の鶴の入口にあたる白岩地区の棚田が整備されたが、今後どう景観を維持するのか

【答】今回は寄る会みな



また、芦北地域振興局職員、それいゆアグリ等の作業員で整備されたが、今後は地元自治会をはじめ、趣旨に賛同する団体・個人などが中心となって行っていたら、資金面の助成は県にお願いし、市としても可能な範囲で支援していく。

【問】来春には菜の花が咲くので、県道沿いの木の伐採はできないか

【答】県や地元自治会と連携しながら、調整していく。

ICTの活用及び外国 語活動教員について

【問】ICT機器を使った教育は、現在どのように行われているのか

【答】電子黒板や大型テレビを活用し、デジタル教科書等を提示し、教材の一部を拡大表示したり、動画を視聴したり、画面に補足説明を書き込んだりしている。

【問】外国語活動教育はどう行われているのか

【答】3、4年生ではコミュニケーションや体験を中心とした、主に音声面の学習を行っている。

5、6年生では、語順を意識しながら書いたりする学習も行っている。



高岡 朱美 議員
(日本共産党)



サンエレ閉鎖… 市経済への影響は

市経済の現状について

【問】 2014年以降、市内の倒産、廃業、創業件数はどう推移しているか

【答】 倒産は2015年に1件。廃業は2014年17件、以降20件、11件、20件、18件、今年は今現在まで8件だ。創業は4件、8件、6件、7件、6件、1件となっている。

サン・エレクトロニクス株式会社閉鎖の影響について

【問】 市の支援窓口にどのような情報が集まっ

ているか

【答】 市内企業からの求人30件、他市外（八代、出水、阿久根）から多数ある。

【問】 閉鎖後の具体的影響を試算しているか

【答】 法人市民税、償却資産に係る固定資産税の減少等が考えられる。今は、従業員の支援が重要であり、試算することは考えていない。

【問】 水俣で100人規模の雇用がなくなる影響は大変大きい。チッソは「抜本支援策」という破格の金融支援を受けながら事業を継続してきた。これは、水俣病においては国にも責任があるからであり

加えて地元からチッソ存続と経営強化を求める強い要望があったからだ。当時の市長はこの要望を受け、何度も国に患者救済とチッソ支援の両方を陳情に行っている。患者補償

のために解雇は仕方ないというのは誤った刷り込みで、両方やらなければならぬ責任がチッソと国・県にはある。市長もそういう立場で国にものを言うべきではないか

【答】 会社を存続させれば経営がよくなる確証があるなら私もそういう話をできるが、経営者でもない私が安易なことを言うのはいかがなものか。再就職支援に全力を尽くすことが私の役目と考えている。

環境モデル都市の称号について

【問】 環境モデル都市の選定基準は

【答】 温室効果ガスの大幅削減など高い目標と先駆的な取り組みをする都市を国が選定する。水俣市は平成5年に環境モデル都市づく

りを掲げ様々な挑戦をしてきた。全国から注目され、多くの視察があった。国は15年遅れの平成20年に初めて13の都市を認定している。この称号は、どん底から市民が立ち上がる際の羅針盤であり誇りだ。市長は新たにSDGs未来都市の認証を目指しておられるようだが、その認証は環境モデル都市の称号や目標に取って替わるのか

【答】 環境省の助言を受けてながらつくった2期目のCO2削減プランを実行中だ。SDGs未来都市の認証に取って替わるものではない。記者発表時に使うボードのデザインが「環境首都みなまた」からただの「水俣市」に変わった。市のPRにもなるはずのボードなのだから、環境モデル都市を入れるべきでは

【答】 環境を入れなかったから取り組みを後退させたわけではない。第6次総合計画の「みんなが幸せを感じ笑顔あふれる元気なまち水俣」を目指していく意思を表したいので「環境モデル都市」を入れる気持ちはない。



県境に設置されている環境モデル都市の看板

その他高齢者福祉及び介護保険事業の現状と職員体制について質問しました。



瀧上 茂樹 議員
(誠心会)



鳥獣被害対策とジビエについて

水俣市立明水園 の運営について

【問】 水俣市立明水園の設立経緯と誰が入園できるのか

【答】 水俣病認定患者の療養施設として、児童福祉法に基づく重症心身障害者施設、「水俣市複合施設明水園」を、昭和47年12月17日に開設された。

【問】 明水園の入園者数と年齢の構成は

【答】 明水園の入園者は、63人である。

その年齢構成の内訳は、50歳代1人、60歳代16人、70歳代4人、80歳代24人90歳代17人、100歳代1人である。



水俣市立明水園

【問】 近年の認定患者の死亡者数と、明水園内の死亡者数は

【答】 熊本県、鹿児島県を合わせた死亡は、年間13人から32人となります。明水園での死亡は、4人から11人である。

鹿やイノシシによる 被害対策について

【問】 市の鹿やイノシシによる農作物等への被害件数と被害額は

【答】 平成30年度が被

害戸数18戸、被害額42万9千円である。

【問】 鹿やイノシシの生息数と駆除数は

【答】 生息数は、鹿は第二種特定鳥獣管理計画では、水俣市・芦北町・津奈木町管内に2,236頭。

平成30年度の駆除数は、鹿が187頭、イノシシは292頭である。

【問】 鹿やイノシシによる農作物等への被害対策は

【答】 水俣市鳥獣被害防止計画による、電気防護柵設置の支援、耕作放棄地解消への支援、官民共同での排除対策、水俣市有害鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動等を実施中である。

「えづけSTOP! 鳥獣被害対策事業」も実施中である。

【問】 水俣市のジビエに対する方針は

【答】 ジビエは、熊本県

猟友会水俣支部と協議中で、民間企業での施設整備の要望があれば支援する。

【問】 野生動物の捕獲後の、処理方法や衛生管理は

【答】 法令等により、保健所から事業者へ指導が行われる。

解体・処理する場合は、「熊本県イノシシ肉・シカ肉衛生管理ガイドライン」に準じた処理方法が望まれる。

大雨や台風等による災害発生時の対応について

【問】 災害発生時の通報を受けて市の対応は

【答】 通報を受け、職員を現地へ派遣し状況把握、状況に応じ応急措置、その後、業者や消防団にて対応する。

【問】 災害として取り上げる基準について

【答】 災害復旧は、市が管理する施設で、市道や普通河川等、林道施設、都市公園や下水道等、学校や公民館等について行う。

【問】 農地等の民有地の場合は、管理者による受益者負担になる。

【問】 災害認定されなかった件数と認定しない理由は

【答】 土木課へ災害報告のうち7件は、宅地裏のがけ崩れ等の民有地のため、対応できなかった。

農林水産課への災害報告のうち2件は、耕作してないことや今後の耕作が見込めず、対象とならなかった。

【問】 自費での復旧工事費用を助成する制度はできないか

【答】 市民の生命、生活、財産を守ることは、市の責務であるので、助成等については、検討したい。

南九州西回り自動車道路開通の 市民への対応と 開通後の経済効果は



藤本 寿子 議員
(無限21)



南九州西回り自動車道 開通にあたっての諸問 題と今後の経済効果は

- 【問】 工事整備のなか、市民から上がってきた苦情は、市民の立場に立ち解決してほしいが
- 【答】 必要に応じ、市の職員が同席し、解決に向け努力する。
- 【問】 出水まで開通した場合のストロー現象を抑える対策は
- 【答】 目的地となるよう市の魅力を磨く。
- 【問】 出水までの開通までに物産館の整備をした方がよいと思うが
- 【答】 新物産館については、関係機関と調整を行い、建築場所等の見

JNC部品事業撤退 について



直しを進めている。

坂口地区の工事の様子

- 【問】 撤退について納得したわけではないが、再就職支援についてはできるだけ市内に居住しながら働けるよう就職斡旋会社に要望をしてほしいが
- 【答】 今後も水俣に住み続けていただけるよう力を尽くすつもりである。
- 【問】 今回の撤退は、一般的な会社の撤退と異なると思うが、認識は

- 【答】 今後も特措法に定めてあるよう、チツソ株式会社が患者補償、更に地域振興を着実に進める必要がある。
- 【問】 国に対しては、撤退が止められないなら、JNC（株）が同規模の事業を水俣に持つてこられるよう支援要請はできないか
- 【答】 今回に限らず、国には経済振興や雇用創出を要望していく。
- 【問】 水俣市の山間地における太陽光発電について
- 【問】 市内の山間地における規模はどれくらいか
- 【答】 本市で把握しているのは、総事業面積110ha、およそ44メガワットである。
- 【問】 建設による土砂崩れは起こらないか
- 【答】 林地開発の許可権者である県と連携しな

- 【問】 森林伐採により、山間地の保水能力が奪われることに対して、市はどのように思うか
- 【答】 雨水が浸透するような工法等を積極的に活用するよう事業者へ要望する。
- 【問】 森林へのメガソーラーはデメリットが多い。SDGsを目指す水俣としてどう思うか
- 【答】 再生可能エネルギーは、市の理念に沿うものであり、県と連携しながら適正な設置がされるよう努める。
- 【問】 フッ化物洗口について
- 【問】 フッ化物洗口液はどこで作っているか
- 【答】 各学校の負担を考へ、教育委員会で作っている。
- 【問】 薬剤を希釈するのは、医師や薬剤師が行うべきと思うが

- 【答】 薬剤管理は、そうであるが、洗口液作りは誰でも行うことができる。
- 【問】 現在の実施状況は児童、生徒でどのようなか
- 【答】 実施児童は87・9%、実施していない児童が12・1%、中学校では実施生徒78・2%、実施していない生徒が21・8%である。
- 【問】 大河原雅子衆議院議員の質問主意書への国の答弁が、虫歯予防ができることとされた歯科医師会と見解が違いうだが県に問い合わせることができるか
- 【答】 見解に相違があるかも知れ、県に尋ねる。
- 【問】 フッ化物洗口をしていない児童、生徒への配慮はどのようなか
- 【答】 真水で洗うようにしており、児童、生徒に差別や偏見が生じないよう十分な説明を行う。

総務産業常任委員会視察報告

◎視察メンバー

岩村委員長、小路副委員長、田中、高岡、桑原、杉迫、牧下、松本

◎視察内容

1 11月12日（火） 島根県浜田市

○ 移動期日前投票所（車）の取り組みについて

- ・有権者数が少ない投票所において、当日の投票者が少ないことや、投票立会人の選任が難しいことから、交通手段の確保が難しい選挙人への機会確保を図るため、日時限定の移動期日前投票所（車）を開設した。統合により投票所は削減されたが、本事業により投票率は維持できている。あくまでも投票所の統合による代替案であり、拡大する方針はない。

2 11月13日（水） 島根県大田市

○ 移住定住化対策の取り組みについて

- ・大田市の良さを再認識してもらうため、推進員の配置、相談会への参加、ガイドブック・ふるさと情報誌の発行、PRサイトの運営、奨励事業、空き家活用促進事業、産業体験者支援事業、婚活事業などを実施している。
- ・空き家バンクは常時50戸の空き家登録がある。25歳同窓会事業は、大学などの新規卒業のタイミングで開催し、ここでの出会いをきっかけに結婚し、地元で生活を始める人もいる。



3 11月14日（木） 島根県益田市

○ 中山間地域ICTを活用した持続可能な地域運営事業について（鳥獣被害対策への利用）

- ・人口減少により、自治運営が難しくなっていることから、複数の自治会を統合し、自治組織づくりを進めてきた。その一つが「二条里づくりの会」であり、役場から支援員を派遣し、会の活動を援助している。そこで組織されたのが鳥獣被害防除隊保護班（19名）である。
- ・狩猟免許取得の独自支援、捕獲保証金の上乗せのほか、GIS地図への目撃情報データをアプリで可視化し、情報共有を図っている。「囲い檻」を設置し、捕獲したサルにGPSを設置することで移動経路、範囲を確認するなど、駆除の効率化を図っている。



厚生文教常任委員会視察報告

◎視察メンバー

谷口委員長、藤本副委員長、岩阪、平岡、瀧上、木戸、田口、真野

◎視察内容

1 11月11日（月） 岐阜県各務原市

○ D I Y型空き家リノベーション事業について

- ・貸主が修繕義務を負わない代わりに安い賃料で空き家を貸し出し、借主は自費で好みに合わせてリノベーションできる上、退去時に現状回復の義務が無く、長期利用が見込まれる。
- ・移住定住対策として、専用ウェブサイトを開設して、各務原市が大好きな若者らがライターとなり市内の人・物・ことを取材し記事を作成している。市内商業施設に移住定住総合窓口を設置している。



2 11月12日（火） 岐阜県岐阜市

○ 岐阜市子ども・若者総合支援センター「エールぎふ」について

- ・平成26年に教育と福祉が一体となった「エールぎふ」を開設した。子ども・若者に対して、特性、発達段階、生活環境その他の状況に応じ、ワンストップで総合的な支援を行う。
- ・施設は旧校舎をリノベーションして、発達段階に応じた階層分けを行っており、利便性の向上、総合相談システムの導入による迅速な対応、幅広い関係機関との連携による専門的な支援が可能となった。
- ・「子どもホットカード」を全児童生徒に配布して、電話やメールで悩みを相談できる仕組みを作っており、24時間対応している。



3 11月13日（水） 愛知県一宮市

○ 一宮市におけるICT及びプログラミング教育について

- ・小中学校におけるICT環境整備として、校務用パソコン整備、教室の教育用パソコン、プロジェクター、デジタル教科書の整備、パソコン教室への40台のパソコン整備等を行い、小学校では総合的な学習、中学校では3年生技術科等での情報教育を実施している。
- ・市独自の研究指定、文部科学省による研究指定の取り組みのほか、ソフトバンク社が企画運営するAIロボットであるPepper社会貢献プログラムに参加し、小中学校でのプログラミング教育で活用している。本企画でプログラミングの大会も開催され、Pepperによる高齢者における服薬管理のプログラミングを開発し、全国大会にも出場した。

議会の主な動き

(令和元年10月1日～12月31日)

- 10月8日 水俣市戦没者追悼式
厚生文教委員会
(平成30年度病院事業会計、国民健康保険事業、後期高齢者医療及び介護保険特別会計の決算審査)
- 10月12日 水俣市制施行70周年記念式典
- 10月23日 総務産業委員会
(平成30年度水道事業会計及び公共下水道事業特別会計の決算審査)
- 10月29日 一般会計決算特別委員会
～31日 (平成30年度一般会計の決算審査)
- 11月1日 議会運営委員会
水俣芦北広域行政事務組合議会臨時会
- 11月11日 厚生文教委員会行政視察(～13日)
(岐阜県各務原市、岐阜市、愛知県一宮市)
- 11月12日 総務産業委員会行政視察(～14日)
(島根県浜田市、大田市、益田市)
- 11月19日 肥薩四市市議会議員研修会
- 11月22日 議会運営委員会

- 11月29日 令和元年第5回水俣市議会定例会開会
全員協議会
- 12月10日 一般質問(～12日)
- 12月13日 各常任委員会
- 12月19日 令和元年第5回水俣市議会定例会閉会
庁舎建替等対策特別委員会
- 12月25日 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会
- 12月27日 市役所仕事納め式

他市町村からの視察

(令和元年10月1日～12月31日)

- 10月9日 ○宮崎県都城市議会
・ごみ減量の取り組みについて
- 11月8日 ○愛知県常滑市議会
・介護予防・日常生活支援総合事業について
- 11月12日 ○兵庫県加古川市議会
・環境モデル都市について
- 11月14日 ○愛知県常滑市議会
○愛知県阿久比町議会
○愛知県東浦町議会
○愛知県武豊町議会
・環境都市への取り組みについて

市議会ホームページから議会の動画や会議録をご覧ください！

水俣市 議会

検索

Q. 市議会の様子を見てみたいけど？

A. 当日の中継や過去の議会も見られます！

水俣市議会ホームページから
「議会インターネット中継」

をクリック！



Q. 質問や答弁の内容を調べたいんだけど？

A. 質問や答弁のキーワードで検索できます！

水俣市議会ホームページから
「水俣市議会会議録検索」

をクリック！



インターネット中継、会議録検索で不明な点は市議会事務局(TEL61-1661)までお問い合わせください

編集後記

まずは「広報みなまた」の発行日の変更に伴い、今年から議会だよりの発行が2月1日となります。ことをご報告します。さて、令和2年も早1カ月が経過しました。市民のみなさまも、今年の抱負をそれぞれ掲げてスタートされたと思います。が進捗はいかがですか。今年は2020東京オリンピックが開催され、水俣市でも5月6日に聖火リレーが行われます。聖火ランナーに選ばれた市民のみなさんは期待に胸が膨らんでいらっしゃるのではないでしょうか。ぜひ、多くの市民のみなさまに沿道で声援を送っていただきたいと思います。結びに、議会だより編集委員一同、今年も内容の充実した誌面作りに努めてまいりますのでよろしく願います。

編集委員(委員は50音順)

委員長 谷口 明弘

副委員長 岩村 龍男

委員 木戸 理江

委員 杉迫 一樹

委員 田口 憲雄

委員 平岡 朱

委員 上田 純

事務局職員 上田 純